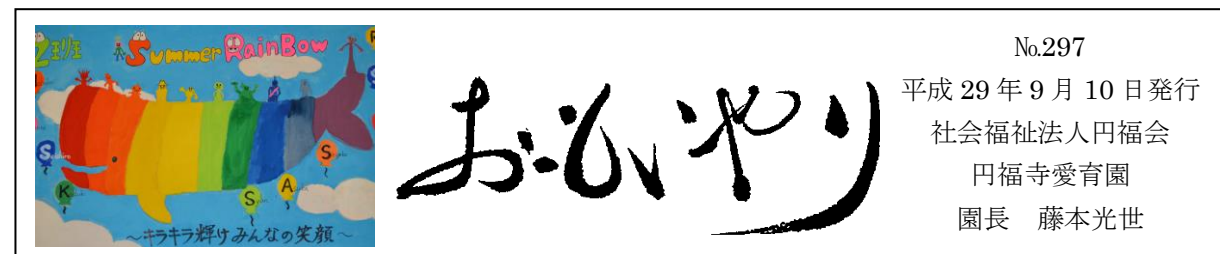


戸隠キャンプ特集号です。写真は、班の旗です。



戸隠キャンプ

園長 藤本光世

夏休みは子どもたちが楽しみにしていた、戸隠キャンプがありました。職員と子どもたちは数週間前から準備を重ねていました。班の旗づくり、テント、寝袋、炊爨用具の準備、食事の計画、買出し、肝試しの準備、開村式の準備、キャンプファイアーの準備と練習、グループ行動の準備など、全員で行くのですから、それぞれ量は多く、忘れ物がないように一つ一つ確認しなければならなかったと思います。でも、子どもたちは、みんな進んで準備を手伝い、準備を楽しんでいる様子が伝わってきました。

キャンプは何回も重ねるにつれて、内容が充実して来たと思います。それぞれの年度の最高のものを作ろうとみんな一生懸命にやって来て、毎年レベルアップしています。それは、職員も子どもも毎年レベルアップしていることに関係しているでしょう。そして、キャンプに慣れて準備も素早くになりました。子どもたちにキャンプのイメージが定着しているのでしょうか。

キャンプの様子は、職員や児童の文章をお読みになってください。私は、児童養護施設は、キャンプのような集団で作り上げる行事を大切に、子どもの心を育てるべきだと思っています。数人のキャンプより大勢のキャンプが楽しいことは目に見えています。大勢のキャンプを企画し、準備し、成功させることは、世のため人の為に働くことの楽しさを覚えることに繋がると 생각합니다。あいつがやっているから、私もやろう。彼に負けないように頑張ろう、というお互いの切磋琢磨が生まれます。その力を利用すべきです。そして、児童養護施設でなければできないことに最高のものを作って、子どもの心を満たすことこそ子どもは自立に向けて自分から行動するようになると思います。年々このような素晴らしいキャンプを創りあげている副園長、主任保育士を中心とした職員集団に敬意を表したいと思います。

開村式の出し物は、忙しい中を先生方が考えてくれましたが、最後はそこに喜んでみていた子どもも加わって大盛り上がりでした。

食事作りは、メニューから各班で考え、役割分担が自然にできて工夫して作ったのですが、それぞれの班の食事を比べあって、回って楽しんでいる子どもや職員がいました。キャンプとは思えないくらいの豪華な食事でしたよ。

圧巻のキャンプファイアーは、みんなで踊りまくり、歌いまくり、ゲームを楽しみました。その

後の肝試しは、係の子どもたちが工夫して驚かせてくれて怖かったですよ。私も何度か「ひゃー！」と声を出してしまいました。泣いてしまった子どももいました。でも、また歩きたい、やりたいと言っていましたけど。



楽しかったキャンプが終わり、2 学期が始まりました。2 学期は高校生の就職の決定の時期であり、中 3 の受験生にとっては学力を伸ばす重要な時期です。夏休みは、毎日一生懸命勉強している子どもたちの姿がありました。成果はそんなに簡単には出ません。でも、やる気になった子どもたちは、成功曲線のようにいつかきっと大きく伸びる時があるでしょう。そのために、一つ一つの行事を大切に、そして毎日の生活に心を鍛えてほしいと思っています。

戸隠キャンプ

副園長 青谷 幸治

今年も戸隠キャンプに行ってきました。台風の影響もあり、前日までの天候が悪くキャンプができるかどうか心配でした。天候にも関わらず 1 週間前から富澤先生の指示の元、子どもたちは寝袋を干したり、テントを張る練習をしたり、食器類を分類したりと各自準備をしてきました。子どもたちのキャンプを成功させたいという思いが伝わり、キャンプ当日は晴天になりました。2 日間班活動を中心に一人も乱れることなく、事故や怪我もなく過ごすことができました。子どもたち一人一人が強制ではなく、自ら考えて行動する。そしてグループで協力する力がついていると思いました。人への優しさを感じることができました。子どもたちのキャンプに賭ける思いは並々ならぬものがあることを改めてわかりました。子どもたちがよりキャンプを満喫できるよう、開村式やキャンプ

ファイヤー、肝試しなど先生方の演出や準備も思考を凝らし良いものができたことにも感謝します。また来年も心に残るキャンプを作り上げていきたいと思います。

戸隠キャンプ

主任保育士 石崎 早織

8月9日10日に今年も戸隠キャンプへ行ってきました。行事の中でも特に子どもたちが楽しみにしているのがキャンプです。今年も中高生を中心に係分担を決め、キャンプ当日まで準備を行ってきました。また班発表をしてからは、各班で集まり、班名を決めたり、食事メニューを決めたりと、毎日をワクワクしながら過ごしていました。毎年キャンプに行くまでの準備が大変なイメージがありましたが、今年はいつも以上にスムーズに準備を行うことができ、前日も慌てることなく最終確認をすることが出来ました。これも準備に協力してくれた中高生のおかげです。

本当に感謝です。キャンプ当日は天気が微妙で雨も降っており、キャンプ場へ行けるのかみんなが不安に思っていました。みんなの思いが伝わり、天気も回復し出発することが出来ました。中高生は先発隊として、1時間早くみんなより出発をし、テント張りもしてくれました。小学生が着く頃には14張りものテントを張り終えており感激しました。さすが愛育園の子ども達！！と思いました。食事作りでは各班に分かれ、小学生はお米ときや、野菜を切るお手伝いを率先して行ってくれたり、中高生は職員と連携しながら火起こし等をしてくれました。私たちの班は少し手の込んだ料理を作ろうと話し合い、ダッチオーブンを使いチャーシューを作ることにしました。今まで作った事がないので、成功するのか不安でしたが、A君が一生懸命火の当番をしてくれたおかげで、すごくおいしいチャーシューを作る事が出来ました。夕食の後はみんなが楽しみにしているキャンプファイヤーをやりました。みんなとても楽しそうに参加しており、そんな姿を見ているだけ



で嬉しくなりました。愛育園のキャンプファイヤーでは必ず最後に卒園生を見送る時に歌う「栄光のかけ橋」をみんなで歌います。みんなこの歌には色々な思い出があり、大好きな曲です。みんなできれいな星を見ながら歌い、今年卒園する子ども達にとってもいい思い出になったのではないのでしょうか。2日間事故や怪我もなく、楽しく過ごすことが出来ました。

毎回行事を終えるたびに思う事ですが、こんなに素晴らしい行事が出来るのもやはり中高生の力があってこそだと思っています。特にこのような大きな行事は職員だけではここまでつくり上げることが出来ません。キャンプを終えた今でも小学生とキャンプの話で盛り上がります。それだけ楽しかったのだと思います。前回のおもいやりでも書かせて頂きましたが、今中高生は部活やアルバイトと毎日忙しくしていますが、キャンプ行事を通して、ゆっくり話をする事ができたり、中高生自身も楽しんでもらえるキャンプになり良かったです。

戸隠キャンプ

あおぞら副ホーム長 富澤正樹

今年も、みんなで戸隠イースタンキャンプ場に行ってきました。

夏休み前の7月中旬頃から、キャンプが待ち遠しくなってワクワクしている子ども達の姿がありました。夏休みに入ると、中高生の子達が中心となってキャンプの準備を始めていきますが、みんなとても良くお手伝いをしてくれます。私は、この「キャンプの準備のお手伝い」が、みんなの中で、年々「楽しい事」になっている事がとても嬉しく感じています。児童、職員、総勢50名弱でのキャンプの準備はとても大変です。食器の確認をして各班に振り分けるのも、テントの部品がしっかりあるか数えたり、50個の寝袋を一旦取り出して、干して畳んで、また閉まって。と、やらなければいけない事が目白押しです。

今までも、本当によくお手伝いしてくれましたが、途中で嫌になったり、飽きてしまったりという事は見られました。「でも、楽しいことだけやって、やりたくない事はやらない」というのは良くないから。と、頑張っ準備をするという様子の子も多かったように思います。それはそれで立派だなと思っていましたが、今年は、大変に見える中に、楽しみや喜びを発見して、「大変な事」を「楽しい事」に変えてしまう。という、なんだか今までよりもずっとレベルの高い力を身に付けている様子が伺えました。

キャンプ当日。朝、小雨が降って、子ども達はキャンプに行けるか不安になっていましたが、昼過ぎには晴れ間が差し、無事にキャンプに行くことが出来ました。

小学生と中高生の男の子と、高校3年生のNさん(女子)は、みんなより先にキャンプ場について、テント張りを行いました。ここでも、すごい勢いで準備が出来上がっていきます。何も無かったキャンプ場が見る見るうちに愛育園のキャンプ場が変わっていく様子は鳥肌が立ちました。今年が最後のキャンプとなる高校3年生のS君は、たった一人で4張のテントを立ててしまいました。小学生のH君、Y君、R君も3人で協力してテントを立てていて、本当に圧巻でした。私個人の思い出では、この着いて1時間の動きづまが一番心に残っています。

その後は、グループ活動で、サッカーやキャンドル作りや巨大シャボン玉作りをしたり、班ごとに食事作りをしたり、夜にはキャンプファイヤーや肝試し、花火をして、更に夜には、中高生の子達と焚火囲んで語り合ったり、内容の濃い時間を過ごせました。特別な時間がいつまでも続いて欲しいと思うくらい楽しい時間でした。高校でラグビー部に所属しているA君は、翌日から菅平合宿が入っており、日帰りしなければならなかったのですが、夜8時くらいには帰る予定でいたのに、「もう少し大丈夫」「まだ大丈夫」と結局11時くらいまでキャンプ場に留まりました。よほど楽しい時間だったのだと思います。やっぱり子ども達にとってキャンプは特別な行事なのだと再確認しました。

2日目も、朝飯作りをして、日中は、グループに分かれて木工細工や水遊び、奥社ウォーキングを楽しみました。

本当に充実した2日間で、ヘトヘトだけど心地よい、そんな気持ちになりました。怪我無く事故無く過ごせたのも、みんなのキャンプへの思いがあつてのおかげでした。

来年も子ども達にとって心に残るキャンプを、子ども達と作りあげたいと思います。

戸隠キャンプ

あおぞらホーム 保育士 近藤誠志郎

8月9、10日の一泊二日で戸隠村にキャンプに行ってきました。当日の朝の天気は怪しい雲行きで心配されましたが、昼前にはすっかり晴れ空になり無事キャンプがスタートしました。私個人的に高校の行事としてキャンプをしたことはありましたが、まだまだキャンプ初心者でありました。そういったことで、今回のキャンプではいつも子ども達に何かを教えているのとは反対で、テントの立て方、火の起こしかた、米の炊き方など、様々な事を子ども達



から教えてもらうといった二日間となりました。二日間を通して最も印象的だったことは、一日目のキャンプファイヤーです。私自身、小学生のときに学校の修学旅行でキャンプファイヤーをしたことはありましたが、当時は恥ずかしさもあり、楽しんだという記憶はあまり残っていませんでした。が、しかし愛育園のキャンプファイヤーは一味も二味も違うものでした。子ども達も、他の職員の方々も大きな声を出して歌う、元気に踊る、そして輝くような笑顔がありました。私も初めはその勢いに圧倒され困惑しましたが、次第にその勢いに身を任せることができ、子どもを楽しませることが仕事ではありましたが、私のほうが楽しんでいるのではないかと思います。楽しい時間となりました。そしてキャンプファイヤーの最後に子ども達、職員全員で輪になり、ゆずの「栄光の架け橋」を歌っているときには、この数ヶ月の愛育園で経験した事が頭に浮かび、熱くなる思いがありました。

また、二日目のグループ行動で参加させて頂いた「奥社散策」では、急な坂道、階段を小学生の子たちが休む間もなく、どんどん登っていく姿はとても頼もしく思えました。キャンプも終盤となって私は疲れも感じていましたが、子どもの体力と勢いに励まされ、無事全員で奥社に参拝する事が出来ました。子ども達の力ってすごいな、と改めて感じたひと時でした。

今回のキャンプで感じたことは、まだまだこの世の中には私の知らない事は山ほどある訳ですが、それを愛育園の子ども達と一緒に学んでいける事が嬉しく思えたことです。そしてこの学んだことを活かして、愛育園の子ども達に返していけるように、日々精進していきたいと思います。さて、夏休みも終わり、二学期がスタートしましたが、この二学期も私にとっては初めての二学期です。様々な事を教わり、成長できることをありがたく感じながら、仕事に取り組んでいきたいと思います。

戸隠キャンプ

まごころ保育士 渡邊梓

今年もあつという間にキャンプの時期がやってきました。去年は、私自身初めてのキャンプで楽



しみな気持ちと少しの不安でドキドキわくわくでしたが、今年はまた違ったドキドキわくわく感がありました。今年のキャンプはどんなキャンプになるだろう、どんなご飯を作ろうか、キャンプファイヤーはどんなに盛り上がるだろうか、と楽しみが広がります。キャンプが近付き、班が発表になり、今年は1班の班長ということで、一気に緊張が増しました。去年は、子ども達と一緒にキャ

ンプを楽しもう！と思っていましたが、今年は、班員の安全を第一に考えて、班のみんなをまとめなければ！という思いも増えました。1班の名前は「カジュレンジャー」です。戦隊ヒーローのように仲間が困っていたら助け合って、協力して食事を作ったり、一緒にキャンプを楽しもう！という思いを込めてこの名前にしました。班旗を作ったり、買い出しに行った際にも、中高生が小学生に教えてあげて一緒に作業したり、店内で手を引いてあげていたり、協力する姿が見られました。キャンプ当日も、自分から「野菜を切ろうか？」「おなべ洗うね」「お皿並べるね」と積極的に行動する子どもの姿がありました。当日はバタバタするかな、と思っていたら、あっという間に夕食、朝食が出来上がり、班員みんなで美味しく頂くことができました。

今年のキャンプでは、一人ひとりが積極的に行動し、出来ることをやってくれたので、班の名前のようにみんなでカジュレンジャーになれたのではないかと思います。また、来年のキャンプが今から楽しみです。

『キャンプ』

まごころ保育士 竹内早季

今年も無事キャンプが行われました。中高生が部活にバイトに忙しい中、少人数で荷物の準備、点検を行ったり係の準備をしたりという場面が多かったのですが、子どもたちも積極的に協力してくれていて行事への期待が高いことを改めて感じました。班の打ち合わせでは、なかなか班の名前が決まらな

かったり、意見が出なかったりしたときも高校生が先頭に立って引っ張っている姿があり、そのおかげで小学生たちは気兼ねなく楽しめているんだなと思いました。私自身も中高生には本当に助けられました。キャンプの中で初めて責任者として活動したものや、開村式での出し物、ご飯作りなど様々な活動を通してまだまだ自分の経験不足を感じました。しかし、



どれも子どもたちは楽しもうとしていて、私も一緒になって楽しさを感じることができました。グループ活動の巨大シャボン玉作りで見たこともないくらい大きなシャボン玉を作れたときの子どもたちのきらきらした表情が印象に残っています。子どもたちとあの時楽しかったねという話がたくさんできるような行事にしていけたらと思いました。

戸隠キャンプ

まごころ保育士 加藤ゆかり

8月9・10日は、待ちに待った戸隠キャンプの日でした。当日まで、班ごとに班旗を作ったり、食事のメニューを考え、買い出しに行ったり、係の準備を進めたりと、準備の段階から子ども達がワクワクしており、楽しみな気持ちがひしひしと伝わってきました。

当日は朝から雨が降っており、キャンプが出来るか心配でしたが、みんなの楽しみな気持ちが伝わったのか、何とか天気が持ち、キャンプに行く事が出来ました。天気の関係で、時間が押してしまいましたが、中高生が中心となり、どんどん準備を進めてくれたおかげで、大きく予定を変更することなく、キャンプが出来ました。

大自然の中で、思いっきり身体を動かして遊んだり、班で食事の準備をしたり、キャンプファイヤーをしたりと、本当に楽しく、充実したキャンプとなりました。職員も子ども達と一緒にあって思いっきり楽しみました。



今回のキャンプで中高生のパワーをすごく感じました。テントの設営から始まり、食事の準備、それぞれの係の仕事など、積極的に取り組んでくれて、キャンプが成功しました。中高生みんなが、愛育園に気持ちがあるからこそ出来ることだと思います。来年度も全員で素晴らしいキャンプを作りたいと思います。

キャンプ

調理主任 伊藤 慈子

今年も、8月9日・10日に戸隠キャンプに行ってきました。雨が降って、キャンプができるか心配でしたが、戸隠イースタンキャンプ場に連絡を取ったところ、山は昨日からガラガラと雨が降っていて、地面はぬかるんでいるがキャンプは出来る…とのことで、安心しました。せっかくここまで準備して、みんな楽しみにしていたので、行けてよかったです。

7月の下旬より、キャンプの準備が始まりました。私達『調理』も、4つの班に振り分けられ、子供達・ホーム職員と共に、班の名前・メニュー決めに参加し一緒に準備してきました。今年は班旗作りにも参加できて、楽しさも倍増しました。中高生を中心に、テントやシュラフを出したり、飯盒やお鍋・BBQコンロなど倉庫から降ろし、様々な準備をしてくれました。調理では、各班で決めたメニューの材料を見て、園にある物・無い物のチェックをし、園にある物を各班の調理員がそれぞれ準備しました。班ごと前日に、食材の買い出し・おやつ選びに出かけ、各班、荷物を整理し

ました。食事用品係では児童と一緒に、食器や道具なども各班に分け、準備万端です。

当日私達調理は、昼食のおにぎりを準備し、テント張りに先発隊が出発した後、積み込みを手伝い、みんな同じバスに乗りレクリエーションをしながら楽しくキャンプ場に向かいました。着いて、荷下ろし、残りのテント張り、昼食、大いに盛り上がった開村式、いろいろ楽しんだグループ行動…と、続き、いよいよ待ちに待った夕食作りです。今年の各班のメニューは、2日目昼食が【焼きそば】のため、夕食にビーフシチュー・チャーシュー・ローストビーフ・串焼きと、各班お肉を使ったメインメニューでした。チーズフォンデュやピザ・お好み焼き、などもあり各班豪華です。今年はフライパンを新たに購入し、メニューも広がりました。今年は、各班作りすぎず、食べきれないということも無く、みんなでおおいしくいただきました。各班、とても豪華においしく出来ていました。



食事のあとは、みんなわくわくドキドキのキャンプファイヤー・花火大会・肝試しがありました。楽しく激しく踊ったキャンプファイヤー、満点の星空の下での花火、怖さで泣いてしまう子、発狂する子、反対に冷めている子など、いろいろだった肝試し。どれも楽しいひと時でした。テントでは、今日の楽しかった事を話し就寝しました。ここまで、あっという間でした。

翌朝、ラジオ体操をし、みんなで朝食をつくり、ゆったりとおいしく食べました。朝食の片付けからテントの片付け、周りの片付けも一通りし、グループ行動になりました。その間、『調理』では、昼食の焼きそばの準備をしました。BBQコンロの火入れを遅くにお願いしたため、いろいろ時間が押ししてしまいましたが、みんなでおいしく食べた後は、みんなで使ったところを、来た時よりもきれいにする気持ちで片づけました。バスと公用車に分かれ、帰園しました。けがや事故もなく、みんなで楽しめた、いいキャンプでした。

戸隠キャンプ

栄養士兼調理員 原 未華

8月9、10日に戸隠キャンプがありました。夏休みの行事でもあり、愛育園にとっても大行事の1つです。キャンプの日が近づくにつれ、子どもたちには楽しみにしている光景が見られました。当日は晴天に恵まれ、キャンプ日和でした。キャンプ場に到着すると、第一陣として先に来ていた子どもたちと先生方で全員分のテントの設置と準備をしてくださいました。

昼食をとった後、グループ別行動をしました。グループ別行動は、キャンドル作り、巨大シャボン玉作り、昆虫採集&サッカーでした。私はキャンドル作りの方に参加させていただき、子どもた

ちは好きな色を選んで、丁寧に自分流のオリジナルキャンドルを楽しんで作っていました。グループ別行動後は開村式でした。終始、笑いが絶えない開村式で子どもたちは大喜びでした。

開村式の後は、夕食準備に取りかかりました。4班の私たちは、串焼き、お好み焼き、オイルフォンデュを作りました。小さい子から高校生までいるので、全員で手分けして協力して作りました。外で料理する機会がありませんので、不便なところは多々ありますが、いつもお弁当当番をしてくれる高校生の女の子は、慣れた手つきで進めてくれましたし、男の子たちは一生懸命に火おこしをしてくれました。小学生は自分たちが出来ることを苦戦しながらも、ゆっくりと精一杯最後までやり切っている姿が見られました。班全員で丁寧に心を込めて作った夕食は、格別においしく感じ、また自分たちが調理したのでより子どもたちも大満足でした。

夕食を食べた後は、子どもたちが待ちに待ったキャンプファイヤーでした。夜空にきれいな星が輝く下で、全員で輪になって声を一つに心一つに歌って、踊って笑顔や笑い声があふれる楽しい一時でした。子どもたちのみならず、先生方も一緒に大盛り上がりでした。そのあとに花火と肝試しをやりました。今年の肝試しは本当に怖かったです。幼児さん、小学生の就寝時間となり、私は小学4年生の女の子2人と同じテントでした。2人とも「今日が楽しすぎて眠れない」と言っていたのですが、楽しんだ分、疲れもあったのかすぐに寝てしまいました。子どもたちに助けられ、一緒になって楽しめたキャンプ1日目でした。

キャンプ2日目の朝を迎えました。朝から良い天気でした。朝食作りも各班に分かれて作業しました。どの班も豪華な朝食で心もお腹もたくさん満たされました。朝食を食べ終わり、テントの片付けや荷物の積み込みをした後、グループ別行動をしました。2日目は奥社ウォーキング、木工細工、水遊びでした。木工細工は好きな木材を使って作業しました。

木工細工に取り組んでいる子どもたちの顔は真剣そのもの。時間を忘れるくらい器用に自分自身が思い描いた物を作り上げていました。グループ別行動が終了した後、調理の方で焼きそばを作り、全員で食べて後、後片付けをして、開村式を行い、愛育園に帰りました。

楽しみに待っていたこと、楽しい時間はあっという間に終わってしまいましたが、子どもたちにとっては最高の夏の思い出として心に刻まれたと思います。

2日間を通して、いつも思うのですが、子どもたちに感心させられることばかりです。何も言われずとも、自分たちで考えて率先して動いていて、本当にすごいです。特に中高生は準備から片付けまで一生懸命や



ってくれたので、その姿は小学生も見ていますし、頼もしい背中を見せていると思います。

キャンプを運営・企画していただいた園長先生、副園長先生をはじめ先生方には感謝しています。本当に楽しいキャンプでした。

2日間、お疲れ様でした。ありがとうございました。

戸隠キャンプ

調理員 橋本 雅

8月9日10日に、戸隠キャンプがありました。キャンプに行く前の準備から班ごとの食事メニュー決めや班旗の制作など子供達が率先してやってくれて、準備からみんなで作り上げているキャンプだと思いました。食事のメニューが決っていくうちに子供達から「夕食のメニューはどうやって作るの、とか美味しくできるように頑張ろう、早く食べたい。」などとニコニコして沢山お話する子供達が印象的でした。私自身初めてのキャンプであり分からない事ばかりで不安がありましたが、子供達に教えてもらいながら一緒に頑張って作り上げることができました。キャンプ当日、霧がかかっていましたが、徐々に晴れてきました。開村式では今ブームお笑い芸人のブルゾンちえみ、サンシャイン池崎、永野のものまねでした。とても楽しい素晴らしい開村式でした。



開村式終了後グループ別行動で巨大シャボン玉やりサッカーをしました。巨大シャボン玉は手作りの円と液につけると凄く大きなシャボン玉ができました。みんなこつをつかむと空高くいくシャボン玉などとても楽しくできました。その後、サッカーをやらせて頂きました。グループ別行動の後、夕食作りをしました。私は、3班でローストビーフ丼、ピザ、ポテトチップスサラダ、フルーツポンチを作りました。火をおこす人、食材を切るなどみんなで協力して作る事ができました。美味しくできました。その後、キャンプファイヤーに肝試し、花火をしました。キャンプファイヤーでは、踊ったり歌ったり大盛り上がりで笑顔が絶えないひと時でした。肝試しでは、ゾクゾクしながら楽しめました。みんなで一つになりとても楽しいひと時でした。一日目が終了してテントで就寝しました。

二日目、天気も良く清々しい朝を迎えみんなでラジオ体操をして朝食作りに取り掛かりました。朝食メニューは、ホットサンドやコーンスープ、パイナップルでした。朝食も夕食のように、火をおこす人、食材を切るなど協力してできました。ホットサンドはそれぞれ好きな具材をのせ楽しく作る事ができました。出来上がると子供たちが「私が、僕が作ったホットサンドだ。」という声が飛

び交っていました。とても美味しくできました。



朝食後、片づけを済ませ荷物の積み込みやテントなどを片付けグループ別行動で水遊びをしました。冷たい水でしたが天気が良くとても最高でした。水鉄砲で遊んだり探検したりしとても楽しめました。その後、昼食を作りました。焼きそばを作りみんなで食べました。二日間の思い出を話しながら沢山食べ美味しく頂きました。片づけをして閉村式をしてキャンプは終了しました。

心も体も満たされ充実した二日間を過ごさせて頂きました。子供達が最初か

ら最まで積極的に動く姿がとても素晴らしいと思いました。先生方と子供達が一丸となり大成功でした。楽しく、思い出になるキャンプでした。ありがとうございました。

戸隠キャンプ あおぞら児童感想

戸隠キャンプに行きました。僕は第一陣で行きました。小学生3人でテントを1つ立てる事が出来ました。

1日目のグループ別行動では、昆虫採集とサッカーをしました。昆虫採集は仕掛けを作って、次の日に見てみたらクワガタを捕まえる事が出来ました。とても嬉しかったです。

ごはん作りも楽しかったです。自分達で作ったご飯はとてもおいしかったです。僕は、他の班のご飯も食べさせてもらいましたが、それもすごくおいしかったです。

その後、キャンプファイヤーや肝試しも、すごく面白かったです。

2日目は、奥社ウォーキングをしました。約2キロ歩いて、汗ダクダクになりました。

2日間とても楽しかったです。

(小4 Y.Y)

8月9日、10日にキャンプに行きました。今年自分は受験生という事もあるって、キャンプ前の準備は少ししかできませんでした。でも、協力出来る時は一生懸命やりました。準備をしていくうち



にキャンプがもっと楽しみなっていききました。

キャンプ当日は、第一陣で先に行きました。雨で出発予定時間が遅く、道も渋滞していたのでキャンプ場に着くのが遅くなってしまいました。でも、その後、全体のバスが来る前にテントを張ることが出来て良かったです。

1 日目はサッカーをしました。足元が滑って上手くいかなかったけど 2 試合とも勝てたので良かったです。久しぶりに体を動かして楽しかったです。

夕食の準備では米炊きををしました。上手に炊けました。夕食はどれもおいしかったけど、特においしかったのはローストビーフ丼です。お腹いっぱい食べました。

夕飯の後は、キャンプファイヤーでした。自分は係だったので、みんなを盛り上げられるように頑張りました。

あっという間に一日が終わってしまいました。すごく楽しい一日でした。

2 日目は朝早く火を起きました。朝ご飯はホットサンドでした。ホットサンドを作るのが楽しかったし、すごくおいしかったです。

その後、奥社ウォーキングに行きました。今まで奥社に行った事が無かったので楽しみでした。歩いてみると思ったよりもきつかったです。

昼食を食べ、閉村式を終えると、2 日目もあっという間に終わってしまいました。



この 2 日間、積極的に準備・片付けが出来たし、みんなで盛り上がる事が出来て、楽しいキャンプファイヤーも出来て、充実しました。今回のキャンプを通して全力でやることの大切さを学びました。それを今度は勉強でも発揮していきたいです。 (中 3 H.M)

8 月の 9・10 日は愛育園のみんなで戸隠イースタンキャンプ場でキャンプをしてきました。私はご飯作りが印象に残っています。ご飯作りでは、一番最初に食べ始められて、一番最後に食べ終わったことが、思い出に残っています。串焼きにする予定でしたが、串が燃えてしまい、BBQ になりました。臨機応変に対応出来て、素晴らしいな、と思いました。キャンドル作りや肝試しは、準備が影響するんだな、と思いました。準備をしっかりしたおかげで、当日困らずに済むということが分かりました。

2 日間のキャンプで学んだことは、準備と計画の重要さと、協力することの大切さです。準備と計画を抜かりなくしておけば、困ることはないと思いました。そして、協力することが大切だと思い

ました。準備も片付けも早く終わるんだな、と分かりました。これから、協力する時にすぐに動ける人になりたいです。楽しい 2 日間のキャンプでした。(高 2 S・Y)

戸隠キャンプへみんなで行きました。私が楽しかった事は 4 つあります。

1 つ目は、キャンドル作りです。今年は去年とは違く、一人一人好きな色のろうを細かくくぐり、紙コップの中へ入れ、その後、ろうそくを溶かして紙コップの中へ入れました。とてもうまく出来ました。2 つ目は、夕飯作りです。私達の班の夕食はチーズフォンデュとチャーシュー丼とフルーツポンチを作りました。私は、ねぎを切ったり、米とぎをしたり、フルーツポンチの果物を切ったりしました。学校の家庭科の授業で包丁の使い方などやったので、うまく出来ました。みんなで協力して作ったので、おいしく出来ました。3 つ目は、朝食作りです。火おこしの手伝いやパンを焼いたりしました。パンはこげないでおいしく出来ました。後片付けも、班のみんなの協力して出来たので良かったです。4 つ目は、



奥社ウォーキングです。9 月に高原学校があるので、そのための練習になるかな、と思いました。でも、途中で足が痛くなりました。高原学校でも、ちゃんと歩けるかな、と思いました、帰る前にみんなでソフトクリームを食べました。とてもおいしかったです。

来年もまたキャンプに行けるように普段の生活を頑張りたいです。 (小 5 S・Y)

お盆行事

主任保育士 石崎 早織

今年のお盆は子ども達とどんな事をして過ごそうか……。とすでに 7 月から副園長と相談をし、いつもなら出来ない事、普段なかなか行くことがない場所に連れて行こうと決まり、お盆を迎えました。13 日の昼食から 14 日まで子ども達と食事作りもしました。昼食は毎年恒例のしゃぶ



しゃぶ！！天気も良く暑い中熱い物をみんなとワイワイしながら食べ、楽しく食事をしました。夕食は外で火を焚きチャーハンを作ったり、うどんを茹でたり・・・中高生を中心に食事づくりをしました。普段包丁を中々持つことのない高校生のR君は一生懸命ねぎを切ってくれました。また準備から片付けまで中高生が本当にテキパキと動いてくれ、とても助かりました。14日は午前中からみんなでおでかけをしました。目的地は「雷滝と山田牧場」です。滝を間近で見ることなんてなかなかないので、牧場も行く機会がなかったので、きっと喜んでくれるはず！！と楽しみにしながら出発しました。案の定滝の凄さにびっくりしながらも感動してくれ連れて行って良かったな～と思いました。また牧場ではおいしいソフトクリームも食べ、大満足。でもまだまだ終わりません。午後はみんなで温泉へ行き、夕食は回転ずしを食べに行きました！！本当に充実した時間を過ごせ子ども達の笑顔は止まりませんでした。15日は園の庭を使い流しそうめん大会も行い、16日はみんなで映画を見に行き・・・行事盛りだくさんのお盆を過ごすことが出来ました。いつも部活で忙しくしている高校生も久しぶりに行事に参加することも出来たし、いつもよりゆっくり過ごすことができ、良かったです。

アルプスピアホームさんとの交流会

あおぞら副ホーム長 富澤正樹



8月26日、アルプスピアホームさんとの交流会がありました。今年で5回目となるこの交流会で

すが、毎年、アルプスピアホームの皆様には、工夫を凝らした遊びや食事を準備して頂いたり、子ども達と本気になって遊んで頂いています。

毎年、アルプスピアホームの皆様は、「自分たちの方が元気をもらっています。楽しませてもらっています。」とおっしゃって下さいます。



女の子達はプラバン作りをし、男の子達は一緒に野球の試合をしました。野球では、お互い本気で戦いましたが、昨年くらいまでは、少し遠慮があったり、手加減頂いた所もあったように思いますが、今年は、最

初から本気を出し合った良い試合になりました。回を重ねて、この交流会がより深いものになってきている

ように私は思いました。

私達も、普段、子供と遊ぶときは、本気で遊ぶという事を意識しています。それが子供との関係を作る一番の近道という事を副園長から教えられています。

そんな私達の思いを、アルプスピアホームの皆様も共有して頂けている事が本当にありがたいと思っています。野球のユニフォーム姿で登場される方も年々増えてきました。

子ども達も、思い切り遊んでもらえたり、美味しいバーベキューを頂いたり、大満足でした。最後は、お礼の気持ちを込めて、子ども達から手作りお菓子と歌のプレゼントをさせて頂きました。ちなみに今年の野球は4対8で、愛育園チームは負けてしまいました。バッチリ練習して、来年は勝ちたいと思います。

アルプスピアホームの皆様、本当にありがとうございました。

第50回 飯綱火まつり（花火大会）

副園長 青谷 幸治

今年も東横田区の鳥羽栄三様のお気遣いもあり、第50回飯綱火まつりに招待していただきました。招待客として座席も用意していただき、お弁当の準備までしていただきました。花火の打ち上げの前に飯縄山への感謝を込めて神事が行われ、花火大会では、世界的音楽家である喜多郎さんによるシンセサイザーを駆使し、水と光と音の饗宴の中、花火が打ち上げられ、座席の目の前で打ち上げられた花火に子どもたちも感動しっぱなしでした。子どもたちや私たちにとって夏のいい思い出になりました。ご招待していただいた鳥羽様をはじめ飯綱火まつり実行委員会の皆様、町民の皆様に感謝いたします。ありがとうございました。